

巻頭言

## 関東大会を終えて

数学部会長 松本 裕育

新学習指導要領が今年3月ついに公示されました。当初は20年度中に公示されるといわれておりましたが、1年近くのびたような感じがします。

今回の改訂の基本的な考え方は

- 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成
- 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視
- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

を柱とするものです。

教育内容の主な改善事項として、特に数学とかかわりがあると思われるものとしては「理数教育の充実」はもとよりですが、「言語活動の充実」も忘れてはならないことだと思います。数学においても自らの考えを数学的に表現したり、その根拠を明らかに説明したり論議したりすることが数学の理解を深め、とすれば数学は計算するだけとか解き方を暗記すればよいといった誤った考え方を正すものとなるのではないかと思います。

平成24年度から、数学・理科は他教科に先駆け新学習指導要領に基づく教育課程になります。各学校におきましては、そのための教育課程の編成作業に着手していることと思います。数学にかかわる我々としては理数教育の充実を目指し教育実践をしていこうではありませんか。

さて、第64回関東都県算数・数学研究千葉大会が11月17日に、全体会を財団法人海外職業訓練協会(OVTA)で高校分科会を千葉県総合教育センターを会場として開催されました。これは、小・中学校関係の千葉県算数・数学教育研究大会と千葉県高等学校教育研究会数学部会秋季研究大会とを兼ねるものでもありました。平成19年よりこの大会実施のための準備が小・中・高・大の関係者で行われ、ようやくこの開催にこぎつけました。参加者は全体で1000人を超え、高等学校でも183名と事前の予想を大きく上回るものでした。県内からの研究発表者数は21で、さらに助言者、司会者、記録者、運営等で多くの先生方の協力をいただき大変円滑な運営をすることができました。関係高等学校の校長先生をはじめ、ご協力いただきました先生方にあらためまして感謝御礼申し上げます。この大会に参加された貴重な経験は今後の数学教育の向上に役立つものと信じます。

本号では、大会特集として、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官永田潤一郎先生の記念講演や発表要旨がすべて掲載されます。今後の教育実践や研究にぜひ活用していただければ幸いです。

最後に、数学部会の益々の発展を祈念しますとともに会員皆様の御協力に感謝し、この冊子の編集に携わった委員の皆様に御礼申し上げます。